

21th Regional Vitalization Forum

岡崎大学懇話会 が取り組む 地域の課題解決 2021!



岡崎市内大学の研究者が地域活性についての研究成果を発表します

第21回 地域活性化フォーラム

参加無料

どなたもお気軽にご参加ください

2022年 **3月12日** **土** 13:30~16:30

開催方式

オンライン

お申し込み方法

右記のQRコードを読み取るか、
岡崎大学懇話会ホームページ<<https://okazaki-dk.com>>の
「お知らせ」欄内「地域活性化フォーラム」の
「参加申込」ボタンをクリックしてフォームにご回答ください。
当日12:00までお申し込みが可能です。



岡崎市におけるニホンザルの農作物被害の実態解明

人間環境大学 立脇 隆文 准教授

デジタルクローンを活用した大学DXと新しいメディア

愛知産業大学 伊藤 庸一郎 教授

岡崎市の高齢者および学生のオリゴ糖による便秘改善効果に関する研究

愛知学泉短期大学 熊崎 稔子 講師

保育士資格、幼稚園教諭免許を目指す学生に対し、SDGsに関する啓発活動を行った際の意識調査およびSDGs普及活動プログラムに関する一考察
—岡崎市を拠点とする国際NPO法人と協働して—

岡崎女子大学 宮腰 宏美 講師

住み続けたいまち岡崎市のSDGs達成に向けた取組 —一介護普及キャラバン隊—

愛知学泉短期大学 木村 典子 教授



主催 岡崎大学懇話会

後援 岡崎市/NPO法人21世紀を創る会・みかわ

プログラム

13:40~14:00

人間環境大学 立脇 隆文 准教授(専門: 野生動物管理学)



岡崎市におけるニホンザルの農作物被害の実態解明

岡崎市においてもニホンザルによる農作物被害が問題となっています。これまで岡崎市では、生産者へのアンケートによって農作物被害の面積や金額を毎年集計してきましたが、地域の方々が感じている被害意識や、地域ごとのニホンザルの出没状況についてはほとんど評価されてきませんでした。本研究では、岡崎市内の全自治会長へのアンケート調査を行い、被害意識やザルの出没状況などを地図上に見える化することで、岡崎市におけるニホンザルによる農作物被害や出没状況の地域性を評価し、岡崎市における今後のニホンザル対策の進め方を検討しました。

14:10~14:30

愛知産業大学 伊藤 庸一郎 教授(専門: AI(機械学習)、人間中心デザイン、プロダクトデザイン)



デジタルクローンを活用した大学DXと新しいメディア

スマートデザイン学科は、様々なサービスのDX(デジタルトランスフォーメーション)化と経済活動のメタバース化を支えるデジタルクローンを創造するデザイナー育成を目的とした学科です。本学科のカリキュラムは、デジタルクローンの社会実装を企画から生成に至る全ての工程を実社会の先駆者と「産学融合研究」で実践的に学んでいます。そんなスマートデザイン学科は2022年春で4年目を迎えることになります。本講義は、本学科の2年生3年生の産学融合研究事例から垣間見ることのできるデジタルクローンに寄り添われる我々の社会と、そしてそのベクトル線上にある未来を示したいと思います。

14:40~15:00

愛知学泉短期大学 熊崎 稔子 講師(専門: 栄養教育・栄養カウンセリング)



岡崎市の高齢者および学生のオリゴ糖による便秘改善効果に関する研究

高齢者は加齢に伴って身体の機能が低下していきます。中でも、摂食・嚥下機能や消化機能の低下が食べることに影響し、食事量の減少が問題になります。また、筋肉の萎縮によって排泄することが難しくなり(便秘)、下腹部の不快感、腹痛につながることも問題になっています。便秘は若年層においても悩む者が多数みられ、本学の学生にも便秘を訴える者がいます。そこで、便秘の改善効果が認められているオリゴ糖に着目し、オリゴ糖の摂取による排便効果の程度を、高齢者と学生を対象に調査しました。さらに、オリゴ糖の食事への取り入れ方についてリーフレットを作成し、QOLの向上を目指すことを目的としました。

15:25~15:45

岡崎女子大学 宮腰 宏美 講師(専門: 英語教育、国際協力)

保育士資格、幼児園教諭免許を目指す学生に対し、SDGsに関する啓発活動を行った際の意識調査およびSDGs普及活動プログラムに関する一考察
—岡崎市を拠点とする国際NPO法人と協働して—

岡崎市細川町を拠点とするNPO法人ゴスペルエイド及びパディカフェのネパールにおけるパディ族の子ども達への支援を学生が知るところをきっかけとして、貧困や教育に関するSDGsを学ぶためのスタンプラリーを実施した。SDGsスタンプラリーを通じた学生のSDGsに関する学びや認知度につちえの調査をもとに、保育職・教育職を目指す学生へのSDGsについてのラーニングメソッドを模索し提案したいと思います。

15:55~16:15

愛知学泉短期大学 木村 典子 教授(専門: 老年看護学)



住み続けたいまち岡崎市のSDGs達成に向けた取組 —介護普及 キャラバン隊—

少子化、介護イメージの低迷などによる介護職の担い手は減少し、介護福祉現場において、深刻です。岡崎市においても深刻となっています。介護を必要とする高齢者は増す一方、高齢者の介護を支える世代の人口が減少し、人材の確保が課題となっています。国連が取り上げるSDGsの「3 すべての人に健康と福祉」が揺らぐ課題となります。本研究では、「みんなで支える介護」をテーマとして、介護イメージを調査し、その結果を参考に、介護の魅力の普及活動として、エッセイ、岡崎市で働く介護職の方のインタビュー動画を作成し、それを幅広い人へ発信を試みました。

岡崎大学懇話会とは

岡崎大学懇話会とは、岡崎市内の大学(愛知学泉大学・愛知学泉短期大学、愛知産業大学・愛知産業大学短期大学、人間環境大学、岡崎女子大学・岡崎女子短期大学)で構成する組織です。それぞれの大学の学問的特性を活かして、地域と地域産業の活性化を推進することを目的に活動しています。

■ 連絡先

〒444-0015 岡崎市中町1-8-4
岡崎大学懇話会事務局
(岡崎女子大学・岡崎女子短期大学 大学総務課)
[TEL 0564-22-1295/E-mail dsomu@okazaki.ac.jp]